

大家連精神保健福祉講座⑦

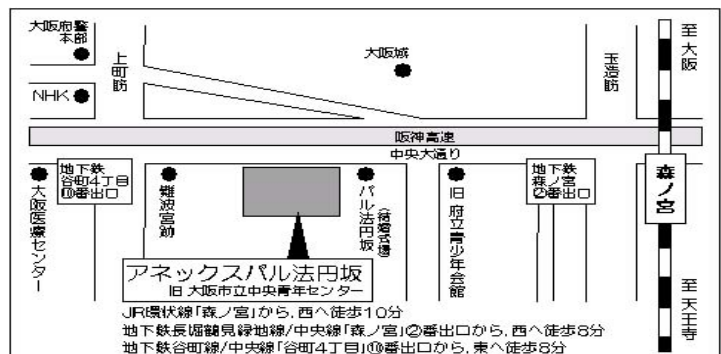
日時 2018年11月19日(月) 13:30~16:30
場所 アネックスパル法円坂 7階なにわのみやホール(定員250名)
内容 「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」映画上映と講演
講演 監督 今井友樹氏
・映画製作の経過とこの映画への思い
・映画製作での苦心談
・精神保健福祉に関する行政への要望 など

夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年



呉秀三(くれしゅうぞう)は、今から百年前の時代に東京大学医学部精神科の教授として、異例の社会的な取組みを進めた先達者である。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走した。その土台となった報告書『精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけた。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどうなっているのだろうか? 古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられている。2017年12月の「寝屋川市監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人々に衝撃を与えた。しかし、このような事例はまだ少なからず存在すると関係者は指摘する。こうしたタイミングで、この課題に一貫して取り組んできた精神医療保健の専門家組織である公益財団法人 日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎える きょうされん(旧称:共同作業所全国連絡会)が提携して製作したのが本作である。

監督: 今井友樹
撮影: 小原信之
編集: 古賀陽一
プロデューサー: 中橋真紀
ナレーション: 竹下景子



どなたでも参加できます。 問い合わせ先 大家連事務所 TEL 06-6941-5797